



『お母さん』を学ぼう会 通信

第4号(1月号)

平成24年1月17日(火)

◆二〇一二年も よろしくおねがいします◆

新しい年を迎えました。お正月の休暇はどのようにお過ごしでしたか？今年も雨が多かった降らず、空気がカラカラに乾燥して、風邪やインフルエンザの流行もこれくらい心配です。どうぞみなさま、ご家族ともにお身体に気をつけて、元気に春を迎えたいですね。

学ぼう会は、今年から本格的な活動を行っていきたく、さまざまな講座やイベントを企画しているところです。参加して下さる皆様にとって「学び」や「憩い」のおみやげをお持ち帰りしてもらえよう、ひきつづきましてしっかり運営をさせていただきます。今後ともご協力をお願いいたします。

◆学ぼう会の代表が変わります◆

お母さんたちが主体になり、お母さんたちの「学び」や「交流」の場所を目指して結成した学ぼう会。お母さんたちが安心して会に参加できるように、保育環境を整えることに力を入れてきました。

そして、昨年十一月、当会代表の野邊さんが、板橋区の子育て支援者三級の受講をきっかけに、受講者に声をかけて、保育と保育支援を考える「保育支援ネットワーク・キャンネット」を立ち上げました。このような経緯で昨年の十一月の定例会では保育サポーターのご協力が得られました。

保育支援ネットワーク キャンネットについて

キャンネットは、保育に興味がある方ならだれでも参加できるグループです。女性

(とくに母親)の学習支援の一環として、保育サポーターは欠かせません。お母さん方がお子さんを預けて、有意義な時間を過ごすことが「自分磨き」につながり、ご家庭でも、社会でもイキイキと過ごせることができるのではないかと考えているからです。

キャンネットは、板橋区の子育て支援者三級以上の方、または保育士・幼稚園教諭免許をお持ちの方であれば、保育支援活動を行うことができます。運営規定を整備しています。また、そのような資格が無い方でも、「保育」に関する方々にとって、「保育」を知る絶好の機会になるように、活動をしていきます。そのために情報交換やスキルアップ、同じ思いを持つ方々との交流を目的とした定例会を行うべく予定しています。

ふたつのサークルで 活動の幅をひろげます

このように、学ぼう会とキャンネット、二つのサークルが立ち上がったことで、サークルの運営と活動を明確に分ける必要が出てきました。

学ぼう会の代表は岡本、キャンネットは野邊が務めることになりました。代表の変更の主旨をご理解いただき、学ぼう会のみなさまの承諾を得たうえで、正式に代表変更したいと思います。といつても従来の学ぼう会の活動と比べて何ら変わることはありません。ご安心を！

保育支援に関して ご意見をお聞かせください



キャンネットの活動は女性の学習支援としての保育サークルの提供です。同じような活動をされているサークルやグループに対しても保育支援をするために、運営規定を整える必要があります。

その際、保育支援をして下さる方へ交通費や、時間を提供して下さったことへの対価をお支払いすることを考えています。他団体への保育支援をはじめるにあたり、学ぼう会と他サークルの内容が不公平にならないよう、キャンネットへ保育支援を依頼する際は、学ぼう会も一定の費用を考える必要があると考えています。本来、可能な限り保育を無料で受けられる方法を考えました。しかし保育支援を依頼するならば、気持ち良く保育支援をお願いし、支援をする方々にこそ良くお引き受けいただきたい、継続的にお願いをするために、皆さんと最善の方法を考えたいと思います。

この件については、皆さんのご意見にそって、考えていきます。一月の勉強会時にアンケートをお願いしますので、ご記入をお願いいたします。

◆二月の定例会は 家庭支援センターの取材が

板橋区の子育て支援者の養成を行っている板橋区子ども家庭支援センターで、子育て支援者向けに発行している情報誌「すまいる」から、取材の依頼を受けました。子育て支援に関する情報として、学ぼう会の活動の様子を記事にしたいということです。二月の定例会の様子を取材する予定です。お楽しみに！

◆救命救急講習を 実施します◆

二月二十八日(土)午前九時〜十二時、成増社会教育会館、レクレーションホール南において、「救命救急講習」が行われます。保育支援者のスキルアップを目的に企画したキャンネット主催のイベントです。

平成二四年一月一日から、新しいガイドラインに改訂され、救命講習の内容も新しくなりました。

震災を経験し、日常において子どもの命を守る知識や技能が私たち親にとつて何より大切なものだと実感しています。

お母さんだけでなくお父さん、おばあちゃん、お友達などをお誘いの上、ぜひご参加ください。詳細は別途チラシを配布します。

※講習時の保育はありませぬ。ご了承ください。

おねがいします！！

板橋区ファミリーサポートに関するアンケートにご協力を!!! ~アドレス~

<http://enq-maker.com/bys1W2a>

Googleで「板橋区」「ファミリーサポート」「アンケート」で検索してください

～保育の申し込みについて～

- ◆保育サポーターの方々の依頼人数を把握するために、事前に申し込みが必要になります。お子様のお名前・性別・月齢をお知らせください。
- ◆会からの連絡メールおよびホームページで連絡事項を掲載します。
- ◆お気に入りのおもちゃ、絵本などの持参が可能です(汚れたり壊れたり、お友達に貸し借りができるもの)。手ぶらでもOKです。
- ◆ミルク・おやつ等の飲食介助はできません。必要に応じてお母様方が対応してください。

◆福祉の森サロン ◆

「子育てサロン連絡会」

平成二三年十二月十六日(金)板橋区立男女平等推進センター会議室にて行われた「福祉の森 子育てサロン連絡会」に参加しました。

この連絡会では、社会福祉法人 子どもの虐待防止センターの山川玲子先生による「子どもの虐待について」の講義が行われました。その内容を簡単に報告します。

So 児童虐待の定義

ご存知ですか？ So

「児童虐待」ってなに？どんなことを児童虐待と言うのでしょうか？

「大けがをさせること・・・」

「死に至らしめること・・・」

語では「child abuse」と言います。「abuse」の「ab」は、アブノーマルの「アブ」と同じ。「正常から遠い」、つまり正しく使われていない、という意味です。子どもが正しく使われていない：「子どもの乱用」が、児童虐待なのです。では、子どもの乱用とはどういうことなのでしょう。

子どもは親の庇護(かばって守られる)のもとで育っていきます。親は子どもの欲求を満たす役割をもち、子どもは欲求を叶えてもらいながら、心身ともに成長し、自立していくのです。

ところがこの関係が逆転し、「親が子どもへの行為を通して、自分自身の欲求や要求を満たそうとする」役割の逆転現象が「虐待」である、というのだそうです。

では「しつけ」は、どう捉えるべきでしょう。山川先生は「しつけとは、子ども自身の自己調整能力を育むこと」とおっしゃっています。自分の感情や言動を自分自身の力でコントロールできるように、子どもが内面に発生した不快を快にチェンジできるように、子どもの心を育むこと。このためには、子どもの心の中に父母をすまわせることが大切だといえます。

So sosを出す勇氣

まず救うべき対象は： So

残してしまします。

虐待が明るみになった時、解決のためにまず誰を助けるべきだと思いますか？

私はすかさず「子ども！」と思いましたが、ところが専門家のお話は違っていました。たしかに最も傷ついて辛い思いをしているのは虐待の対象である子どもです。(もちろん物理的に保護する必要はありません)でも実は、虐待する側(保護者・とくに母親)を救い出すことが最も大事なことだと、言葉を強くされたながら、山川先生はおっしゃっていました。

「子どもの虐待は、家族からのsos。家族の機能不全としての虐待であり、関係性の病理である」と。

母親の子どもに対する虐待行為の大きな理由に「夫から支えられていない」と感じている家庭生活ではない」ということ、両親の子どもに対する虐待行為の大きな理由に「夫も妻もいっぱいいっぱいで家族が機能していない」ということが根底にある、そこを救わない限り、解決へは向かわないのだそうです。

児童虐待は家庭という密室の中で行われるために発見されにくく、しかも虐待者が親(扶養者)であるために、子どもは

逃げたり、救いを求めたりすることが困難です。

虐待行為を行って自分の良い親はいません。行為に対する自己嫌悪、どうしようもない憤り、助けをもとめたくても言えない苦しみを抱えているケースがほとんどだといえます。良妻賢母の呪縛や、思い通りにならない子ども、孤立、周囲に理解者がいない、など「いいママにしたい」のいうまうかかない、「わたしはひどい母親」「この悪循環を断ち切るために、第三者への救いを求めること」が最も大事なのですが、結局は学校や近所からの通報で虐待が発覚するというケースがほとんどだそうです。

お母さんが「話そう」「話したい」そう思える場所が必要であり、「わたしの子育てを一緒に考えてくれる場所」という機能を果たすことは社会的にも重要だと、山川先生はおっしゃっていました。

学ぼう会は、まだまだ発展途中のサークルですが、参加されるお母さんたちと一緒に大いに考え、話し、共有できる場所になれたらいいな・・・と感じました。そして会の学びを通して、決して「お母さん方が自己嫌悪に陥らないこと」も大事だと思えます。いろいろな視点を発見する場ではありますが、自分の子育てと照らし合わせ、〇×チェックする場では決してない！ということ。。。

虐待は非常に重い話題でした。山川先生から伺った事例には涙ができました。傷ついている人だけでなく、傷つけている人も苦しむ：家庭内における虐待は、家族の苦しみです。家庭をもつ私たちに無関係の話ではないと感じます。

子育て名言



子供は親の言うこととはきかないが、親のする通りにはするものです。

親の生き方こそ子供にとって最高の教材です。

ジョセフ・マーフィーの教育家・牧師

(平成二十四年二月定例会)

*平成二十四年二月二十一日(火) 十時～十二時

*成増社会教育会館：和室 ※保育和室を予定しています。

【テーマ】

*二月の定例会

子どもにあつた生活環境について一緒に考えてみよう

(発達と生活リズム・食生活) ※保育をご希望の方はお早めにご連絡ください。

◆編集後記◆

二〇一二年は辰年。龍にあやかつて、勢いよく元気に過ごしていけるよう、皆さんもどうぞお身体にはお気をつけ下さい。

皆さんのおかげで楽しい会運営ができていことに感謝です！メンバーも増えつつあり、有り難いことです。今後、すこしずつ運営のお手伝いやご協力をいただきたいな：とも思っています。もしよかつたら「やるわよ」のお声ください！みなんで楽しみなながら会を運営出来たらうれいしな！

【お母さん】を学ぼう会 通信 第4号：平成24年1月17日(火) 会代表：岡本 侑子 〇〇〇@i.softbank.jp 090-0000-0000 Fax: 03-5000-0000 ホームページ http://manaboon.seesaa.net/ メールアドレス Okasan.Manabo@gmail.com

姉妹サークル「キャンネット」 代表：野邊まりこ 〇〇〇@docomo.ne.jp 090-0000-0000 http://cannet.seesaa.net/



MaNa Boon